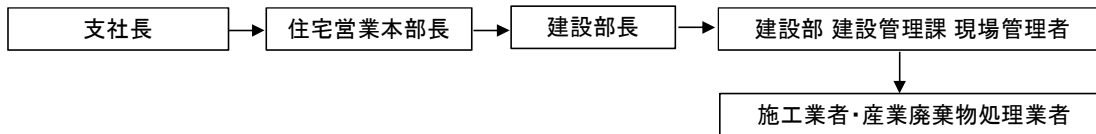


産業廃棄物処理計画書	
2024 年 6 月 30 日	
(宛先) 長野市長 荻原 健司 様	
提出者	
住 所 長野県松本市双葉22-1	
氏 名 ミサワホーム甲信㈱	
代表取締役社長 芹澤 剛	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0263-25-9252	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ミサワホーム甲信株式会社 長野支社 住宅営業本部（各現場含む）
事業場の所在地	長野県長野市平林二丁目2番17
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業 0651
② 事業の規模	元請完成工事高56.15億円 長野県内全域 年間152棟戸建住宅建設
③ 従業員数	99名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	建設現場 処理委託 直富商事(株) 井上産業 リサイクル業者

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏、ゼリー含む)	がれき類(コンクリート、廃アスファルト、破片等)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
	排 出 量	0.05t	141.89t	21.70t	81.39t	678.85t	60.71t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物		
	排 出 量	91.13t	228.97t	0.30t	28.71t		
	(これまでに実施した取組) 新築工事において、現場での分別により100%リサイクルを行いゼロエミッションを達成し、活動を維持している						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏、ゼリー含む)	がれき類(コンクリート、廃アスファルト、破片等)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
	排 出 量	0.05t	139.05t	21.27t	79.76t	665.27t	50.50t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	0	0
	排 出 量	89.31t	224.39t	0.29t	28.14t		
	(今後実施する予定の取組) 現場での分別を継続して行う						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 14種類の品目ごとに分別を行う
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 14種類の品目ごとの分別を継続的に行う

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏板、レンガ等)	がれき類(コンクリート、廃アスファルト、木材等)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	0	0
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏板、レンガ等)	がれき類(コンクリート、廃アスファルト、木材等)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	0	0
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏板、レンガ等)	がれき類(コンクリート、廃アスファルト、木材等)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	0	0
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏板、レンガ等)	がれき類(コンクリート、廃アスファルト、木材等)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	0	0
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組)							

【目標】						
産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)	がれき類(コンクリート、廃アスファルト、レンガ片等)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
全処理委託量	0.05t	139.05t	21.27t	79.76t	665.27t	50.50t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	0.05t	137.41t	21.27t	61.24t	655.70t	15.05t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量		1.65t			9.57t	42.84t
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	0	0
全処理委託量	89.31t	224.39t	0.29t	28.14t	0.00t	0.00t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	89.26t	115.24t				
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量		109.15t				
(今後実施する予定の取組)						

②計画

※事務処理欄

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項			産 業 廃 棄 物 の 種 類（実績値・計画値）												合 計	
			廃油	廃プラスチック（廃タイヤ、発泡スチロー）	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石膏）	がれき類（コンクリがら、廃アスファルト）	建設混合廃棄物（安定型、管理型）	紙くず	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	0	0		
排出抑制に関する事項			前年度排出量（実績）	0.05t	141.89t	21.70t	81.39t	678.85t	60.71t	91.13t	228.97t	0.30t	28.71t	0.00t	0.00t	1,333.70t
			本年度排出量（計画）	0.05t	139.05t	21.27t	79.76t	665.27t	50.50t	89.31t	224.39t	0.29t	28.14t	0.00t	0.00t	1,298.03t
自ら行う（行った）再生利用に関する事項			前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
			本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら行う（行った）中間処理に関する事項	自ら行う（行った）熱回収の量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	自ら中間処理により減量する（した）量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
自ら行う（行った）埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
			本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
処理の委託に関する事項	全処理委託量		前年度実績	0.05t	141.89t	21.70t	81.39t	678.85t	60.71t	91.13t	228.97t	0.30t	28.71t	0.00t	0.00t	1,333.70t
			本年度計画（目標）	0.05t	139.05t	21.27t	79.76t	665.27t	50.50t	89.31t	224.39t	0.29t	28.14t	0.00t	0.00t	1,298.03t
	優良認定処理業者への処理委託量		前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
			本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	再生利用業者への処理委託量		前年度実績	0.05t	140.21t	21.70t	62.49t	669.08t	15.36t	91.08t	117.59t	0.00t	0.00t	0.00t	1,117.56t	
			本年度計画（目標）	0.05t	137.41t	21.27t	61.24t	655.70t	15.05t	89.26t	115.24t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,095.22t
	認定熱回収業者への処理委託量		前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
			本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		前年度実績	0.00t	1.68t	0.00t	0.00t	9.77t	43.71t	0.00t	111.38t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	166.54t
			本年度計画（目標）	0.00t	1.65t	0.00t	0.00t	9.57t	42.84t	0.00t	109.15t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	163.21t

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。